



友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501 青森県七戸町立鷹山宇一記念美術館内
熊内67-94 荒熊記念美術館友の会
〈TEL〉0176-62-5858 〈FAX〉0176-62-5860
〈e-mail〉takayamamuseum@ruby.plala.or.jp



【鷹山宇一の素描】

㊤上「林檎」(1954年、水彩) ㊤下「紫陽花」(1956年、鉛筆・水彩) ㊤「波夷羅大将(於東京国立博物館)」(1955年、鉛筆・色鉛筆・水彩)

「鷹山宇一の素描」

「20世紀フランス絵画の精髓」と題した特別展開催のため、山形美術館からお貸し出したいただいた服部コレクション60点と、吉野石膏コレクションのルノワール1点が、このほど無事会期を終え帰宅の途についた。沢山のお客様を楽しませ、心豊かなひとときを与えてくれた、そんな作品たちが一気にそしてスッキリ姿を消した。ガラッンと何も無い空間には、ただ白い壁だけが残されている。さて、次は何を展示しようか・・・もちろん、鷹山宇一の作品を紹介するのだけれど、ついさっきまでピカソやシャガール、ローランサン、ユトリロなどなどそうそうたる面々の重厚な油彩画たちが鎮座していたその壁面に、どのように鷹山宇一の世界を表現しようか・・・？白い壁だけの展示室にてひとり、即座に切り替わった学芸員モードの脳みそはこんな指令を出した。「デッサンにしよう！」

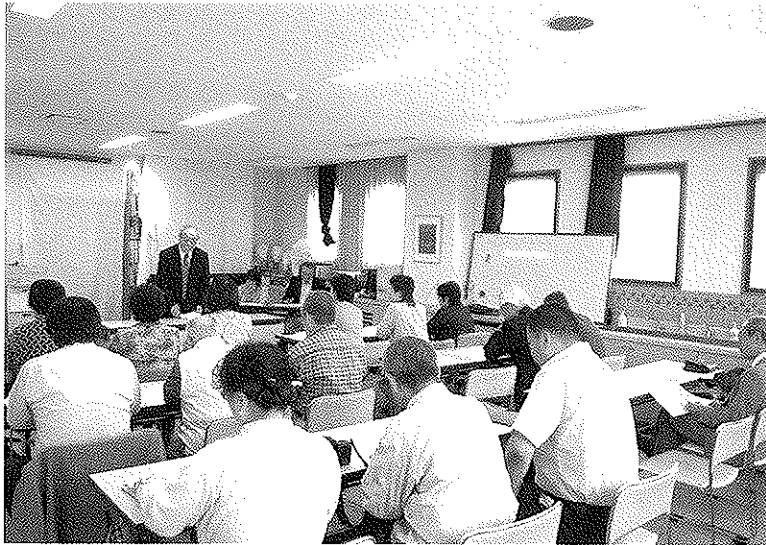
ひとりぼっちの学芸員の特権？か、常設展の構成と作品のセレクトに毎回楽しみを独占している私。その第六感が「素描」はどうしても外せない、と言っている。上質で大変美味なお肉料理を食べて満腹満足でも、ズルズルとすすり食べる美味しい盛り蕎麦が恋しくなる、そんな気分にも似ている。「やっぱり私日本人じゃない」と自分のアイデンティティを確認するような感覚！50代までの間、毎日欠かさずことなく素描をした鷹山宇一。それは画家の「研鑽の場」であるのだと言う。頂き物の蟹や伊勢エビ、庭に咲く紫陽花、ふるさとから送られてきた林檎、そして自身が身を置く都会の風景・・・写生することを忘れなかった鷹山の油彩画には、「骨」がしっかりと描かれていて、画家の「気骨」が現れている。

鷹山のデッサンを前にすると、私には必ず心に浮かぶ光景がある。それは、画学生のような真摯な面持ちで素描する鷹山宇一の姿。実際に拝見したことはない。でも、広がるんだス！その情景が・・・「初心忘るべからず」私にはそう言っているようにも思われる。心を正して、静謐なる心で真を見なさい！

鷹山宇一の精髓、ここにあり。鷹山宇一の素描は、そんな力を持つていマス。是非一度ご体感あれ。(学芸員 大池亜希子)

鷹山宇一記念美術館友の会

平成22年度通常総会開催



通常総会で挨拶する盛田会長

鷹山宇一記念美術館友の会平成22年度通常総会が平成22年6月12日午後2時から開催され、平成21年度事業報告、貸借対照表、収支計算書及び平成22年度事業計画(案)並びに収支予算(案)等の全ての承認議案が原案の通り可決されました。総会資料を別添の通り同封致します。

総会では、任期満了に伴う理事・監事の改選が行われ理事三名、監事一名が交代致しました。長年役員を務められた方々には深く感謝申し上げます。

総会終了後行われた役員会において会長、副会長の再任が承認され、本年度の事業体制が整いました。(下記新役員紹介参照)
本年も、友の会会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

帰省中の小四の孫が、鷹山宇一記念美術館で開催されていたフランス絵画展を見に行った。
日頃、絵に関心の無さそうな彼女のお目当てはピカソ。どこに魅せられたか不明だが美術館デビューの感想は、「よかった」、「面白かった」。
今回、二か所を巡ったの私の感想も「よかった」、「美しかった」と四年生並み。午前中は県立美術館での『古代ローマ帝国の遺産』。現地まで出向きながら、勿体なくも見過ごした古代ローマの栄光や、ポンペイの復元映像で遺産の数々を堪能した。
午後は郷土館のサントリー美術館名品展。お目当てはポスターやチラシに掲載されていた青色の薩摩切子と

七戸町 中原美子

平成22年度国内研修旅行記 きらめきの薩摩切子

平成22・23年度 新役員紹介	
会長	盛田 雅子 (再任)
副会長	奥山 栄子 (再任)
事務局長	戸川 美奈子 (再任)
理事	川村 向美子 (再任)
理事	小山 恭美子 (再任)
理事	山下 洋一 (新任)
理事	山本 豊彦 (新任)
理事	井内 勝代 (新任)
理事	藤田 喜代 (新任)
理事	高田 晃一 (新任)
監事	高田 晃一 (新任)



青森県立郷土館にて

薄青の浅葱紋小袖。重厚で壮大なローマ展から一転して、日本の「生活の中の美」に包まれ、思わず溜め息。重要文化財二点に敬意を表し、高度な技術を駆使した工芸品等を鑑賞しつつ、念願の小袖を探すが、ない。後期の展示品と言う。
気分を切り替え、薩摩切子の展示室へ。透明なガラスに、藍色や紅色で技巧を凝らした切子細工を被せた作品群が並ぶ。中でも、藍色の取手の「紫色の被ちるり」と、紅色の可愛い小皿に目を奪われた。小皿に匂の山菜を盛り付け、ちろりの冷酒で・・・と、下戸(?)ながら夢のひと時。
青色に魅せられる。フェルメールのウルトラマリン・ブルーや、東山魁夷・平山郁夫の青を追っかけては癒されている。美しい物との出合いの機会を頂けたことに感謝申し上げます。

鷹山宇一記念美術館
News & Report
2010年6月15日発行

松伯美術館コレクション

上村家三代 松園・松篁・淳之展
華麗なる美の系譜

初日変更
となりました

7月17日(土)～8月22日(日)
会期中は無休



館内保守看視
ボランティア活動
へのお誘いとお願ひ

特別展開催中の当館内で、作品とご来館のお客様の安全、そして、より良い鑑賞環境を保守するために、皆様のお力添えが必要です。ご興味がおありの方は、美術館迄一報ください。ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。
☎ 0176-62-5858

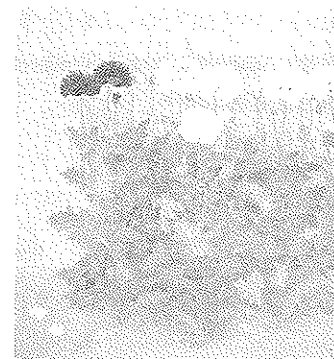
東北新幹線「七戸十和田駅」がよいよ本年12月4日開業いたします。これを記念して、鷹山宇一記念美術館では青森放送株式会社とともに主催して、日本画壇に美人画・花鳥画の世界で研ぎ澄まされた「美」を表した、上村松園、松篁、淳之、親子三代による日本画展を開催いたします。

女性が画家となるには至難の時代でありながら、女性としては初めての文化勲章を受章、近代美人画の第一人者としてその道を極めた上村松園。謡曲や歴史などに取材し、女性ならではの視点で描き出された格長高い女性像は、今もなお多くの人々を魅了し続けています。そのような母の傍らで幼い頃から絵に親しんで

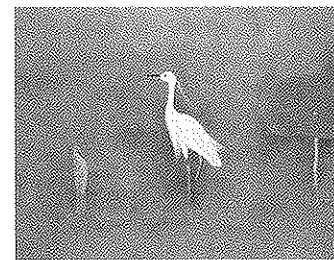


▶上村松園「花がたみ」(1915年、絹本彩色)

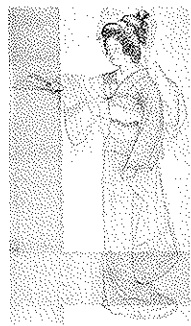
きた子息、松篁は、ごく自然に画家を志しました。写実性と装飾性との調和した優美で気品溢れる独自の「花鳥画」の世界を創出し、母同様に文化勲章を授与されています。そして現在、この美の系譜は、松篁の長男、淳之に確固と受け継がれ、東洋独自の空間表現と花鳥画の新しい展開を追究、三代続けての日本芸術院会員に就任するという偉業を成し遂げました。現在は創画会理事長として、また、松伯美術館館長としても多忙な日々を過ごされています。



▲上村松篁「芥子」(1987年、紙本彩色)
▼上村淳之「蓮池」(2000年、紙本彩色)



■□□□□□□□□□□□□□□□□
*上村家三代50余点の展示を予定しています。松園の美人画では本画のみならず下図の妙味も併せてお楽しみください。そして「花鳥画」に新境地を求めた松篁、淳之親子。同じテーマであるからこそ見えてくる違い、そして受け継がれた「美」「日本画」「創作活動」への想いを垣間見ることが出来るでしょう。



▲上村松園
自他共に認める代表作
「序の舞」下絵、1936年

篁・淳之、上村家三代の研ぎ澄まされた感性、脈々と受け継がれた美の伝統を検証し、日本画に表された日本人ならではの美意識の世界を紹介しようというものです。
上質な美「空間」で豊かな「時間」を心ゆくまで堪能いただけましたら、望外の幸いに存じます。ご来館を心からお待ち申し上げております。

▲上村家三代展の楽しみ方 ■□□□□□□□□□□

上村家三代 松園・松篁・淳之展 Information & 反の会公員の皆様 優待 事業

7月17日(土)→8月22日(日) 会期中は無休
入館時間/10:00→17:30(閉館18:00)

■入館料■
一般850(650)円/学生400(320)円/小中学生200(160)円
※(内)は前売、団体、県民ルッジ受講者、JAF会員割引料金
※前売券は当美術館及び下記にて7/16迄お求めいただけます
[チケットぴあ/コード764-234] ショッピング、ファミリーマートほか
【JTB商品番号0227726】 上記コンビニはじめての、セブンイレブン
※友の会会員の皆様は特典とおりご入館いただけます

■展示替え休館■
7/12(月)～16日(金)迄、8/23(月)～8/27(金)迄

▶7月16日(金)
15:00～ 開儀式・テープカット・内覧会
16:00～ 松伯美術館館長・上村淳之氏 ガラリートーク
*華麗なる美の系譜＝上村家三代・淳之氏による作品解説会に、友の会会員の皆様をはじめとする関係各位を特別招待いたします。創画会理事長としても多忙な日々を過ごされている今まさに活躍中の日本画家・淳之氏の日本画に寄せる思い、お人柄にも触れられる絶好の機会です。是非ご聴講ください。お申込みが必要です！

▶8月1日(日) 「茶道裏千家七戸会」によるお呈茶のサビ
10:00～ 先着400名様限定！無料デス

美術館日誌

【7月】

- ▼5日/七戸町役場事業ICTモーター等設置工事。当財団監事会
- ▼7日/七彩会油絵教室
- ▼10日/戸館館長青森市出張公益法人改組打合せ等
- ▼16日/戸館館長十和田市出張青森DC上北連合会議出席
- ▼17日/NHKサービスタワー尾形様、工藤様ご来館。大池、しちのへ春まつり打合せ会議出席
- ▼18日/古屋敷、佐伯、食品衛生責任者養成講座出席
- ▼19日/青森銀行幸畑支店年金友の会41名様ご来館
- ▼20日/当財団理事会、評議員会、役員懇親会開催
- ▼21日/戸館館長、大池奈良県出張(松柏美術館コレクション展開催に伴う)挨拶と打合せ、22日迄)
- ▼25日/当財団経理担当職員面接試験。佐伯「しちのへ町づくりの会」会議出席
- ▼27日/友の会会報58号発送作業
- ▼30日/近田会計事務所会計処理等打合せのため来館
- ▼31日/ふるさと雇用再生特別基金事業教育普及担当職員面接試験

【4月】

- ▼1日/新年度辞令交付

- ▼5日/戸館館長、大池、町内出張(保育園幼稚園へ新事業、まちかど美術館事業説明と協力依頼)
- ▼6日/戸館館長青森市出張(市内関係各位へ新年度ご挨拶まわり)
- ▼8日/戸館館長、天間、県立七戸高校へ特別展看視ボランティア活動協力依頼。セコム担当者来館(監視カメラ設置工事打合せ)。戸館館長青森出張
- ▼9日/「あもり紀行」2010夏秋編掲載のため絵馬館取材。町内保育園長会議へ戸館館長出席(まちかど美術館事業概要説明)
- ▼10日/七彩会油絵教室
- ▼13日/当財団理事会。セコム担当者来館監視カメラ設置工事打合せ)
- ▼14日/お菓子のみやきん専務、七戸本店店長来館(フランス絵画展「レセプションパーティー」お菓子打合せ)
- ▼15日/近田会計事務所担当者来館(会計ソフト納入)
- ▼16日/青森県観光連盟3名様ご来館
- ▼17日/展示替え休館(24日迄)
- ▼18日/セコム監視カメラ設置工事(20日迄)
- ▼19日/大池山形市出張(フランス絵画展作品借用立会、山形美術館、21日迄)
- ▼20日/みやざわ看板正面玄関特別展告知アーチ設置工事
- ▼21日/「フランス絵画展」作品搬入(東京マルイ美術)。RAB青森放送フランス絵画展」取材。近田会計事務所担当者来館(会計ソフト入力指導等)
- ▼22日/「フランス絵画展」作品展示作業(東京マルイ美術)。RAB青森

- 放送「フランス絵画展」取材。セコム十和田支店長来館(監視カメラ設備使用方等説明)
- ▼23日/山形美術館館長加藤様、山形新聞社広告局事業部副部長田瀬様ご来館。歓迎懇親会を開催。RAB青森放送「フランス絵画展」取材。グランドピアノ借用、搬入
- ▼24日/「フランス絵画展」開催式、テープカット、レセプションパーティー、加藤館長ギャラリートークを開催。秋田連シャンソンの夕べ開催。七彩館オープン式典に戸館館長出席
- ▼25日/「フランス絵画展」初日(6月6日迄)
- ▼29日/東北電力三沢営業所34名様ご来館
- ▼30日/RAB青森放送「まちかど美術館」ニュース報道のため城北保育園を取材

【5月】

- ▼4日/RAB青森放送「フランス絵画展」取材
- ▼7日/戸館館長、新幹線開業実行委員会に出席
- ▼8日/七彩会油絵教室
- ▼10日/七戸町商工観光課2階工房使用千和田エイトライン協議会)
- ▼12日/「フランス絵画展」入館者5千人を突破
- ▼13日/戸館館長十和田市出張十和田湖広域観光協議会第1回総会出席。南部藩児童交流事業打合せのため遠野市より担当者様ご来館。佐伯、南部藩児童交流事業実行委員会出席。光彩会25名様ご来館

- ▼14日/「まちかど美術館」作品展示作業。十和田市現代美術館館長高屋様ご来館。野辺地保育園5歳児23名保護者引率者30名様ご来館
- ▼15日/「まちかど美術館」作品展示(16日迄)。JR主催「駅からハイキング」38名様ご来館
- ▼16日/七戸町商工会女性部主催、七戸つじ祭り観光ツアー100名様ご来館。七彩会油絵教室
- ▼17日/「まちかど美術館」展示作品撤去・搬出作業。佐伯「しちのへ町づくりの会」第2回理事会に出席
- ▼18日/当財団監事会開催。ジパングプラザアートの旅17名様ご来館。南部地区公立病院院長事務局局長協議会22名様ご来館
- ▼19日/戸館館長「警察友の会」花見会に出席
- ▼20日/深沢紅子野の花美術館「忘れな草の会」38名様ご来館。戸館館長青森出張
- ▼21日/青森大学オープンカレッジ44名様ご来館。美術館ロビー電気交換作業。近田会計事務所担当者来館
- ▼22日/当財団理事会、評議員会開催
- ▼23日/「さくら団地婦人委員会」20名様ご来館。青森県書道連盟21名様ご来館。創童舎当館事業を取材
- ▼25日/ATV青森テレビ営業推進部石村様来館
- ▼28日/近田会計事務所担当者来館。戸館館長青森出張
- ▼31日/茶道裏千家七戸会様8月1日お呈茶打合せ



ブラボーインド!

七戸町 竹内 勝彦

美術館友の会副会長から「タージ・マハルへ行った時の原稿書いて」と突然の依頼。一か月の時間をもらい引き受けた方がいいが、私がインドに行ったのは1938年。あれから12年。ほぼ消滅しかけている記憶をたどりながら小学校レベルの作文に挑戦します。

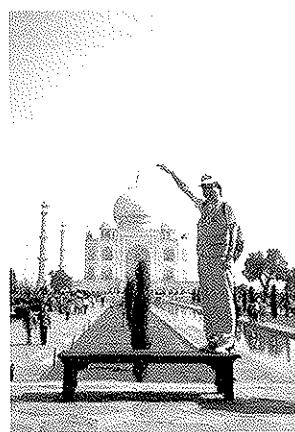
日本を出発したのは6月中旬。その一週間前、コレラの予防接種を受け準備万端の私達に、デリー市内で熱波により犠牲者が出た。ニュース。まあインドを体験するのなら一番いい時期では。と自分で言い聞かせ、閑空からJALで一路デリー空港へ。飛行機は予想通りというか、予想以上のガラガラ。6列シートを一人占めしてはまだ余裕。おかげでエコノミーズ候群を心配することもなく約8時間で無事到着。が。現地ガイドが出迎え場所を待っている事になつてゐるのに。いない。熱帯地方特有の臭さと、42度の暑さと、ガイドがないことで、いきなり不安の頂点。思わず回れ右をして乗ってきた飛行機でそのままたま帰らなかつたが、しばらくしてようやくガイドとご対面。駐車場で私達を迎えてくれた車は、なんとベンツのワゴン車。もしかしたら私達はVIP。なの。ここから4泊5日のインドの旅のはじまり。インドにいつてまず目に飛び込

んできたのは、郊外の人々は家畜と一緒に生活していること。家畜は放し飼いだから平気で道路を占領し、所構わずオッコや○○こそのすぐ脇にある屋台で普通に食事している市民の皆様。屋台のメニューは美味しそうだったが。さすがにコレラの予防注射はしたけれど、お腹の中がほぼ無菌状態で臨んだ私には食べる勇気がなかった。家畜達の排泄は自然と低い方に流れ、行きつくところはたぬ池。そこで気持ちよさそうに泳いでいる子供達。ガイドに病気にならないのか。?と健康を案じて質問。ガイド曰く、これが普通。日本人の価値観で見れば全てが驚きでしようが私達は普通。!との回答。やぼな質問をしてしまったと素直に反省。そういえば、その後カンボジアに行った時も、はだしの子供が寄つてきて「お金頂戴!」と何度も手を差し伸べるから小銭をあげようとしたら、ガイドに「あげないで!日本人は気が毒がつてすぐあげようとするが、そうすることによってこの子供達は働かなくなる。今の生活がこの子供達は普通。あなた達が日本で生活している目線で見ないで」と言われ二度目の反省。以後海外に行つた時は、余計な同情とか変な日本人のプライドは持たない事にした。インド2日目。早朝にデリーから特急電車に乗り一路タージ・マハルへ。市内を抜けたあたりで車窓から目に入ってきた光景は、右手にバケツをもって大地を歩いている人や、しゃがんでいる人。話には聞いていたけれど、まさしく

神様が与えてくれた大地で用をたしている方。ちようどその時、朝食のサンドイッチが配られ、もちろんちゃんと食べた!

お昼頃アグラ到着。タージ・マハルについては、皆さんすでにご存じでしょうから省略しますが、観光客の人達、人差し指で壁をカリカリやっているのです。もしかしたら、翡翠、サファイヤー、トルコ石、間違つてポロっと取れたら、なんて期待をするのは万国共通だった。

最終日、インドのお土産屋さんに行つたけれど、これといつて欲しいものがなく、ブラブラしていたらお店の店員(男)が玄関マツト位の大きさのジュータンを見せて、「200ドルでどうだ?」と



タージ・マハル

言うから、あまり買う気がなかつたので、「高い、100ドルならOKと返事。」そしたら、それじや商売にならないよという表情だったので予想通り商談不成立。集合時間になり出口まで来たらしき頃の定員、「Hey you - 100ドルでOK!」だつて。私は、「え!!」なんて買う気がないのに、「OK」と言った手前ここで買わな

や日本人嘘つきになつて、日印問題まで発展したら大変だと思ひ100ドルで買つてきた。後でガイドから聞いたところ、その店は一週間ぶりの売上だったそうである。なんだか、すぐくインドに貢献してきたような思ひになつた。その絨毯は、今でもほつれることなく事務所の玄関マツトとして毎日活躍している。

最後の夜、ホテルのダイナシヨ。ミャンマー人が運ぶ料理を食べながら、カンボジア人の演奏で中国人が歌う日本の「北国の春」を聞いた。インドは広い。インドは熱い。インドのカレーは旨い。タージリンも旨い。ブラボーインド!

でもでも、毎回帰国して思うこと。日本人でよかった!

☆ご意見ご要望をお寄せ下さい。皆様の会報です。友の会の事業全般、研修旅行、お便り、旅行記等をお寄せくださるようお願い申し上げます。

編集後記 六月になり、友の会の国内研修旅行、通常総会開催、会報編集開始と、久方ぶりのハードスケジュール。縮切目をカレンダーで確認しながら、ふと「もう半年暮らしたんだあ」と思った。まだと思えば登り坂、もうと思えば下り坂だと教えてくれた友がいた。皆様のご協力を頂き会報第59号完成。有り難う御座いました。(T・T)

平成22年度第1回国内研修旅行記
古代ローマ帝国の遺産
 栄光のローマと悲劇の街ポンペイ

七戸町 盛田恵津子

6月6日の晴天に恵まれた朝、鷹山宇一記念美術館前から出発し、青森県立美術館企画展「古代ローマ帝国の遺産」を見て参りました。

栄光の都ローマと悲劇の街ポンペイから発掘された遺物が展示され、2000年前のローマ帝国を見る事が出来ることにワクワクしました。ひんやりとした県立美術館の通路は土で出来ていて三和土(たたき)になっており、これも何度か訪れていて足になじんできました。

一行は33名で3班に分かれ、それぞれ説明員が付き解説して下さったので、歴史の流れや背景がわかりました。私はその後、再びゆっくりと見て歩きました。

古代ローマ帝国は、2000年前、暗殺されたカエサルの後継者となり、その後200年、平和が続く時代を作った皇帝アウグストゥスから476年、滅亡まで500年の歴史があります。

子供の頃読んだ本にはカエサルはシーザーであり、皇帝アウグストゥスはオクタヴィアヌスだったような気がし、時代の流れで呼称が変わると思いました。そしてハリウッド映画で何回となく見たクレオパトラや十戒、ベン・ハーなどローマ帝国の盛

衰の映画シーンが鮮明に浮かんで今にも2頭立ての馬の戦車を乗り回し、きらびやかな黄金を身につけたヒロインが登場して来るようでした。感じたことは、ギリシャ神話や太陽神などを崇拝していた時代なのでキリスト教の影響がない作品群を見るのは面白いと思いき、2000年以上も前なのに実に豊かで人間臭く、技術もすぐれ、芸術性が高いのに驚きました。

メインの皇帝座像(アウグストゥス)は、尊大で権力者の表情で威圧感があり、圧倒されました。

物語にあったヘビの髪をし、目を見ると石に変えてしまうメドューサを退治した戦いの女神・ミネルウア(ベ)やカリアティド(女性の柱)など女性も存在感があると思いました。



青森県立美術館前にて

第三の展示室では、ポンペイの遺跡があり「黄金の腕輪の家」の壁画は南イタリアの太陽の光とオリーブの緑や地中海の青さを感じさせるもので、CG(コンピュータ・グラフィックス)でヴァーチュリアリティイ映像を見て現代のCG技術を楽しみ、時代の風景を眺め、少しイタリア歴史旅行をした気分になりました。

県立美術館から外に出ると、まぶしいばかりの白い建物と青い空、緑の芝生とひばり館長さんが待っていて下さり、皆さんの再会を喜び大はしゃぎで記念写真を撮りました。あまりに多忙なひばり館長さんのご健康をお祈りしつつ県立美術館後にしました。さわやかな一日を過ごさせて頂き本当にありがとうございました。

友の会会員登録の更新と
 新規会員入会お誘いのお願ひ

平素、会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有り難う御座います。新年度においても鷹山宇一記念美術館への各位のご協力をお願い致します。

○一般会員

会費 (個人) 年度会費 3千円
 特典 ①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引
 ②ミュージアムグッズ1割引
 ③研修会、講演会への招待、優待
 ④他美術館等の視察研修への優待参加
 ⑤会報の配布

○特別会員

会費 (個人・法人) 年度会費 1万円
 特典 一般会員特典に加えて

- ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館
- ②新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

会費 (個人・法人) 年度会費 2万円
 特典 一般会員特典に加えて

- ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館
- ②新規加入の方に画集1冊贈呈
- ③特別企画展の都度、招待券を贈呈

詳しくは美術館までお問い合わせ下さい。